



いよいよ今年最後の通信となりました。毎日盛りだくさんなので、1日も1週間も長く感じる事が多いのですが、さすがに師走は早い...。今年もあと10日ちょっとだと思えば、ちょっと焦る今日この頃です。皆さまもお忙しくお過ごしのことと存じます。阿蘇の山々は雪化粧。本格的な冬の到来で、薪ストーブが活躍中です。

農作業は減ってきましたが、「百姓 = 百の仕事」。

11シーズン目の稲刈りを終えた耕太は、山仕事をしたり、急

遽頼まれたドイツ語の翻訳をしたり。山仕事は冬になると祖父がしていた大事な仕事。他界して6年経ちますが、祖父がマメに手入れをしていた我が家の山(森林)は、周囲のとは明らかに違います。祖父の努力を無駄にしないためにも、シイタケを育てるためのクヌギを倒し、枝葉は薪に。使うことで手入れになるのが本来の里山です。近所のお年寄りから頼まれて木を倒すことも。超高齢社会ですから、若い人のやる事がたくさんあります。軽トラックにチェーンソーを積んで出動する耕太が頼もしい限りです。



稲刈りが終わるまで待ってください、とお願っていた講演などが目白押しで、私は家を空けることが増えました。でも、「伝える」というのも百姓の仕事に入っていると考えていますので、できる範囲でお受けしています。おあしす米を召し上げて下さっている皆さんには、こうして通信やブログを通じて生産者の暮らしや作業をお伝えしておりますが、農産物がどこでどのように、どんな思いで作られているかを知る機会など普通はありません。生産者と消費者が離れてしまっていますから。

でも、もし皆さんが安さだけで外国産の農産物を選んで、私たち日本の農家が生きていけなくなった時、そしてもしある時から海外の農産物が入って来なくなったりした時、本当に困るのはきっと私たち生産者よりもむしろ消費者の皆さんなのです。だからTPP反対、とばかり言っていないで、私たちの思いや存在意義を1人でも多くの皆さんに聞いて頂けるのはありがたいことだと思っています。私にとって、講演や取材はそういうチャンス。右の写真は、読売新聞西部本社の記者さんが放牧場の写真を撮っているところで、18日の朝刊に九州・山口では掲載される予定です。



私が世界農業遺産の認定に関わったのも同じ理由からでした。県庁も私たち民間グループも一生懸命、認定を目指した世界農業遺産。努力の甲斐あって、めでたく認められたので、それを記念するシンポジウムが、阿蘇で開かれました。農業や農村の価値が改めて見直されるきっかけとなりそうです。国際会議では英語で行ったプレゼンテーションを日本語で再現。プレゼンターは知事と宮本さんというシェフと私。そして三男・讃太郎！彼が「僕もしゃべりたい」と言い出し

たのです（笑）。知事は阿蘇の持つ世界的な価値について、宮本シェフは食文化の豊かさについて、そして私は農家の思いについて発表。讃太郎はしっかりとマイクを握り、250人を超える聴衆の前で堂々と「僕たちも阿蘇を守っていきます。大人になったら農家になります」なんて言ったもんだから、会場から拍手喝采を受けて大得意。親バカながら大したものです。控室では知事からくまモンのネクタイピンを付けて頂きました。



12月初旬には知人から頼まれてコンサートも開催しました。歌手のNUU（ぬう）さんと、キーボード奏者の夏秋さんによる心温まるコンサート。田舎に住みながら本物のアーティストさんが奏でる生の演奏に触れられるのは本当に幸せです。いえ、田舎だからこそ、そういうアーティストさんたちと近距離で接することができるのでしょうか。NUUさんは



秋元康さんのプロデュースによりデビューし、倅田來未さんらとも共演していた方。でもあまりにゆとりのない日々疑問を感じ、旅を始め、心の内から湧き出てくる歌詞や曲を大切にするようになったそうです。料理や洗濯、お散歩、と言った日常の中に溢れている小さな幸せの歌が多く、子供たちの心にも響いた様子。野菜の気持ちになった歌もあって、農村にこそピッタリの歌手さんでした。

<http://nuu-nuu.com/>

そして12月の恒例行事と言えば餅つき！関東は角餅なので、つきあがったお餅を四角い容器に入れればそれで終わりなのですが、なにせ九州は丸餅。アツアツのお餅をちぎっては丸め、ちぎっては丸め。日がな一日、餅づくりをしていました。子供たちはお腹がすくとお餅を食べ、手伝う事もあれば勝手に遊ぶこともあり。土曜日だったので近所からワラワラとよその子たちも集まって来て「ボクもやる！」と。見よう見まねで餅を丸める男の子たちが可愛くて。また、ちゃんとお腹が満たされていれば、しっかり働いてくれるのが可笑しくて。大変ではあるのですが、なんともほのぼのとした1日でした。



「伝える仕事」の内容を紙面でお伝えするには限界があるので、もしお時間がありましたら、見たり聴いたりして頂きたいものがあります。地元のテレビ局さんが半年かけて作ってくれた私の特集と、「農業女子会」というラジオ番組です。ラジオ NIKKEI のホームページで「農業女子会」、YouTube というサービスのホームページで「農業のチカラ」と検索していただくと、それぞれ見つかります。

今年も1年、本当にいろんな事がありました。こうして無事に年の瀬を迎えられるのも、支えて下さっている皆さまのおかげです。心からの感謝と、皆さまのご多幸をお祈りして、今年最後の通信を終わります。

どうぞ皆さま、お身体にお気をつけて、良いお年をお迎えください！

